

公共施設マネジメント情報紙ぷらっと第3号の発行について

町田市では、2018年6月に、「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画（以下、再編計画）」を策定しました。

この再編計画に基づき、公共施設の現状や再編の意義、取組などについて、より多くの皆様に興味、関心を持っていただくため、2019年7月1日に、「公共施設マネジメント情報紙ぷらっと第3号（以下、情報紙ぷらっと）」を発行します。

情報紙ぷらっとでは、2018年度からの9年間に取り組む内容をまとめた「短期再編プログラム」の取組状況や今後の予定などを掲載しています。

これからも、市民の皆様や事業者の皆様との「対話」を十分に行いながら、「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指します。

1. 取組経過

2018年

- 3月 1日 情報紙ぷらっと第1号発行
- 6月 21日 行政報告①：再編計画の策定について
- 8月 1日 情報紙ぷらっと第2号発行
- 9月 10日 行政報告②：再編計画策定後の経過について

2019年

- 3月 8日 行政報告③：再編計画策定後の取組について



2. 情報紙ぷらっと第3号*資料1

発行日：7月1日新聞折込にて約11万部配布

- ・1面：表紙
- ・2面、3面：「短期再編プログラムの取組状況、公共施設マネジメントについて知ろう！、みなさんのご意見を紹介」
- ・4面：「知ろう・学ぼう公共施設のこと、町田駅周辺の公共施設の複合化検討を始めました！、今後の予定」



第1号



第2号



みんなで作る 未来の場^{かたち}

ぶらっと

2019年
7月1日号
Vol. 3

発行：町田市 編集：政策経営部企画政策課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
☎042-724-2103 ㊚050-3085-3082

公共施設マネジメントに関する
詳しい情報はこちら（町田市ホ
ームページ）をご覧ください。



「ぶらっと」には、ぶらっと誰でも気軽に立ち寄れるという意味と、みんなが集い交流するプラットフォームという意味を込めました。 本紙は不定期発行です。



公共施設のより良いかたちをみんなで実現する！ を合言葉に町田市の公共施設マネジメントを進めています。

30年40年前の社会状況やニーズに合わせて建設した公共施設。それから月日が経つうちに、建物は老朽化し、暮らしの変化などによって皆さんが公共施設に求めることも変わってきているのではないのでしょうか。

今ある全ての公共施設を維持していくことができない現状の中で、私たちは新たな公共施設のあり方を考えていかなければなりません。それは、将来につながる新たな公共施設・公共空間を自分たちの手で作っていくことができる大きなチャンスでもあります。

みんなのためにあるサービスや建物だからこそ、特定の誰かだけで考えるのではなく、みんなでこれからのことを考えて、より良いかたちの実現に向かっていきたいと考えています。

まずは、そのための土壌づくりとして、一人でも多くの皆さんに知ってもらおう活動を始めました。今後も、市内各所で皆さんに情報をお届けします。

※公共施設マネジメントとは、公共施設を適切に維持管理すること

短期再編プログラムの取組状況

これまでの主な検討の進捗状況をピックアップしてお知らせします。

短期再編プログラムとは

「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」では、施設を機能毎にA～Zの26分野に分けて、各施設の方向性を示しています。
直近の9年間（2018～2026年度）に行う取り組みを短期再編プログラムとして位置づけ、これに沿って取り組みを進めています。



賑わいや交流を創出し、定住促進につながるような「未来への投資」と施設のあり方の見直しや効果的な施設の再配置を行い、健全に維持管理できる施設総量に圧縮する「公共サービス改革」の2つをバランスよく実行していきます。

B 集会施設 (市民部)

玉川学園コミュニティセンターの建替えに着手

玉川学園コミュニティセンターは老朽化に伴い、2019年2月、建替え工事に着手しました。工事期間中は、仮設事務所を設置し、連絡所窓口を移転しています。新たな施設は2021年5月のオープンを目指しています。



玉川学園コミュニティセンター 完成イメージ

機能の方向性

集約化や複合化・多機能化により建物の総量の圧縮や地域の活動拠点の強化を図るとともに、管理運営手法等の見直しを実施することで、新たな交流や活動の場を維持し、豊かで持続可能な地域社会づくりを進める。

C 図書館 (生涯学習部)

「図書館のあり方見直し方針」を策定

2019年1月、生涯学習審議会から「今後の町田市立図書館のあり方について」の答申を受けました。この答申を踏まえて、2月に教育委員会において、「町田市立図書館のあり方見直し方針」を策定しました。

【あり方見直し方針の内容（抜粋）】

- ▶再編検討図書館の方向性
鶴川図書館と鶴川駅前図書館、さるびあ図書館と中央図書館の集約化の検討、木曾山崎図書館、金森図書館の複合化の検討
- ▶効率的・効果的なサービスの方向性

【今後の予定】

2019年度は図書館の具体的なサービス及び最適な運営体制について検討し、効率的・効果的な図書館サービスの方向性を決定します。

機能の方向性

集約化や複合化・多機能化により建物の総量を圧縮しつつ、地域の活動拠点に機能を転移することで、図書に触れる機会や図書を通じた交流の機会を増やす。また、市民等の活力を活かした図書に関連する新たなサービスにより、図書に親しむ機会や場の充足を目指す。

単なる建物の再編ではなく、サービスをどのように維持していくか考えないとね！



D 学校 (学校教育部)

町田第一中学校の建替えに着手

2018年8月、町田第一中学校の建替えに向けて、仮設校舎建設工事が始まりました。2019年4月からは仮設校舎での授業が開始されています。



町田第一中学校 完成イメージ

鶴川第一小学校の新しい体育館が完成

鶴川第一小学校は2014年から建替え工事を進め、既に校舎・プール棟・給食棟の建替えが完了し、2019年3月に新しい体育館が完成しました。

【今後の予定】

- ▶町田第一中学校は2021年9月の新校舎での授業開始を目指し、2019年12月に新校舎の建設に着手します。
- ▶年少人口の減少や学校施設の老朽化に対応するため、2019年8月に審議会を設置します。審議会では、児童・生徒が良好な学習環境で学べるよう、2019年度は1学校あたりの適正な学級数や統廃合を含めた学校配置のあり方について検討します。

機能の方向性

児童・生徒が良好な学習環境で学べるよう、必要な適正規模・適正配置を実施する。また、学校施設の適正な維持・管理のため建物の長寿命化や計画的な建替えを実施する。さらに、学校施設の有効活用や複合化・多機能化等により、愛着ある地域拠点施設とする。これらにより、建物の総量圧縮を図る。

児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化といった状況にどのように対応するのか考えていく必要があるんだね！



M 美術館・博物館等 (生涯学習部・文化スポーツ振興部)

「町田市民文学館のあり方見直し方針」を策定

文学館の事業及び施設の見直しの方向性を示した「町田市民文学館のあり方見直し方針」を教育委員会で策定しました。

【方針の内容（抜粋）】

- ▶町田市の文化創造の核となるべき存在意義があり、文学館は存続し事業を継続する。
- ▶事業の見直しとしては、認知度・利用率を高める取り組みを行う。
- ▶施設の見直しとしては、短期的には、中心市街地と芹ヶ谷公園を結ぶ中継地点にあることから回遊性を高めるために現有地での事業を継続する。また効率的・効果的な運営手法を取り入れる。

建物が使えなくなる時期を見据えて、中・長期的には集約化や複合化の検討も必要になってくるよ。



G 子どもセンター・子どもクラブ (子ども生活部)

子どもの多い地域の子どもクラブ整備を進める

2018年度は、小山中学校区子どもクラブの建設工事に着手しました。また、鶴川第二中学校区子どもクラブの実施設計も完了しました。

【今後の予定】

小山中学校区子どもクラブが2019年10月、つくし野中学校区（南町田グランベリーパーク内）が2019年秋に閉館予定です。また、鶴川第二中学校区子どもクラブは建設工事に着手していきます。

機能の方向性

複合化・多機能化や市有財産等の活用により建物の総量を圧縮する一方、他機能との連携をさらに深めることで、子どもの地域への愛着を育む健全育成と乳幼児の子育て支援の場の維持や魅力の向上を図る。

V レクリエーション・観光施設 (子ども生活部)

指定管理者による運営を開始 町田市子ども創造キャンパスひなた村

4月1日より位置づけを児童館相当施設に改め、新たに運営を開始しました。併せて、提供サービスの質の向上と施設運営の向上を図るため、指定管理者制度を導入し、遊び・野外体験・創作活動など子どもたちの育成をサポートしていきます。また、地域の方々と連携・協力しながら愛される施設をめざします。



大地沢青少年センターのあり方について提言を受ける

大地沢青少年センターのあり方検討について、町田市子ども・子育て会議から、以下の5つの提言を受けました。

【提言内容】

- ▶幅広い世代への発信
- ▶特色のある事業展開・プログラムの充実
- ▶周辺地域との連携 ▶施設名の変更
- ▶民間活力を導入し、大地沢の魅力を活かした施設運営

【今後の予定】

提言を踏まえ、2021年度の民間活力を導入した運営の開始に向けて、2019年度はもっとも効果的な民間活力の導入方法を検討していきます。

機能の方向性

事業の見直し、複合化・多機能化、さらなる民間活力の導入により施設総量の圧縮を図る他、さらなる収益の増加や運営の効率化を図るとともに賑わいや交流を創出する。

市立博物館は2019年6月をもって展示事業終了

建物の老朽化などから6月に展示事業を終了しました。ガラス・陶磁器は、2024年開館予定の（仮称）国際工芸美術館への引継ぎに向けて全収蔵資料の点検と確認を実施しています。また、考古・民俗・歴史資料については、三輪ビジターセンターでの展示や学校への出張授業等で活用しています。

【今後の予定】

（仮称）国際工芸美術館開館までは、市内の様々な場所で展示を行ったり体験講座を実施して工芸美術の普及につとめていきます。また、考古・民俗・歴史資料は教育委員会に移管して活用をはかります。

機能の方向性

集約化や複合化・多機能化により建物の総量圧縮や施設の魅力の向上を図る。また、アウトリーチ展示等により文化や芸術等に触れる機会を増やす。

※アウトリーチとは、公的機関、公共的文化施設などが行う地域への出張サービス

X 供給処理施設 (環境資源部)

南収集事務所は2018年11月に閉館

南地区のごみ収集のための駐車場及び事務所であり、おむつ袋・ボランティア袋の配付窓口、資源物の回収拠点、月1回のリサイクル広場開催に使用してきましたが、2018年11月に閉館し、更地にして土地を所有者に返還しました。

Z 駐車場・自転車等駐車場 (道路部)

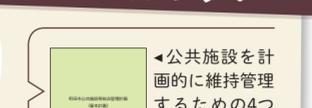
自転車駐車場整備センターへ管理運営を切り替え

4月1日より、これまでの指定管理者制度から整備センターへ管理運営を切り替えました。今後は修繕も含めて任せていきます。このことにより、老朽化した自転車等駐車場を市の財政負担なく修繕もしくは再整備していきます。

機能の方向性

さらなる民間活力の導入により効率的かつ需要に見合ったサービス提供を行う。施設更新の際は、土地の貸し付け、整備、長期の維持管理まで含めた民間活用を検討する。

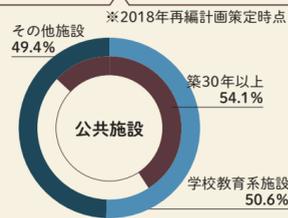
公共施設マネジメントについて知ろう！



半数以上の施設で老朽化が進んでいる

学校が総量の半分を占めています。その大半が築30年を超えて老朽化してきています。

施設数 **359施設**
延床面積 **96.8万㎡**



維持保全に係る費用が増大している

2009年度は約25億円だった費用が2019年度には約35億円にまで増加しています。そのまま増えていくと安全に施設を維持していくことが難しくなります。



公共施設を計画的に維持管理するための4つの基本方針を示しました。

目指すべき姿 基本方針

機能毎の方向性 短期再編プログラム
▶この方針に基づいて、各施設の取り組みを進めています。

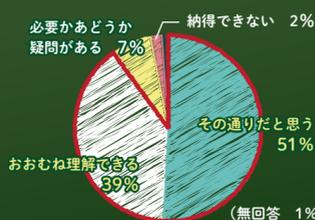
みなさんのご意見を紹介

2018年度は、市内の様々な場所に赴き、アンケートを通して、皆さんからご意見を頂きました。その一部をご紹介します。

【問】
今後も必要な公共サービスを維持していくためには、これまで以上に様々な工夫をしていく必要があります。次の工夫についてあなたはどのように感じますか？

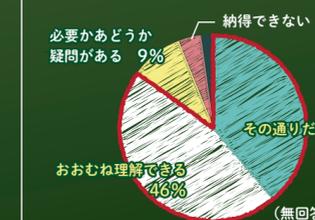
アンケートでご意見いただいた場所
●町田市公共施設マネジメントシンポジウム ●みんなで考える場 i n まちカフェ！
●みんなで考える場 i n 小山市市民センターまつり ●みんなで考える場 i n 大原学園 ●市政モニター

【サービスの民営化や指定管理者制度等、民間事業者の力も必要である】



9割の方が理解できると回答しています。一方、民間事業者だとサービスの質が担保されない可能性を危惧するご意見もありました。

【市民自らが主体となって提供していくことも必要】



「その通りだと思う」と答えた方は4割未満ですが、「おおむね理解できる」を合わせると8割以上の方が肯定的な回答をしています。そのうえで、運営持続性や市民参加の意識の醸成など実現するための課題についてご意見がありました。

これからもずっと市役所が担い続けるのではなく、いろいろな団体と得意分野などで分担していけば、もっとニーズに沿ったサービスが展開できるかも。実現するためにはみんなが話し合いながら進めていくことが大事です。



取り組みを進めるSTEP→



① 知ろう！学ぼう！

② 話し合おう！参加しよう！

③ 一緒に取り組もう！

④ より良くなった！



知ろう・学ぼう 公共施設のこと

「公共施設再編はみんなで考えて取り組んでいくものだから、みんなに知ってもらおう！」ということで、2018年度は様々なイベントや地域にוותってPR活動を進めてきました。これらも、みんなで取り組んでいくための土壌づくりを引き続き行っていきます。



※公共施設再編とは、公共施設の建設、廃止、複合化などを行い再編成すること

2018 9/30 町田市公共施設マネジメントシンポジウム

7月に公表した再編計画を紹介しました。公共施設を取り巻く環境や対策についての基調講演（特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会 寺沢弘樹氏）や市長も交えてのパネルディスカッションを行いました。91名の方にご参加いただきました。



みんなで目標を共有しながら、一緒により良いかたちを描いていく一歩

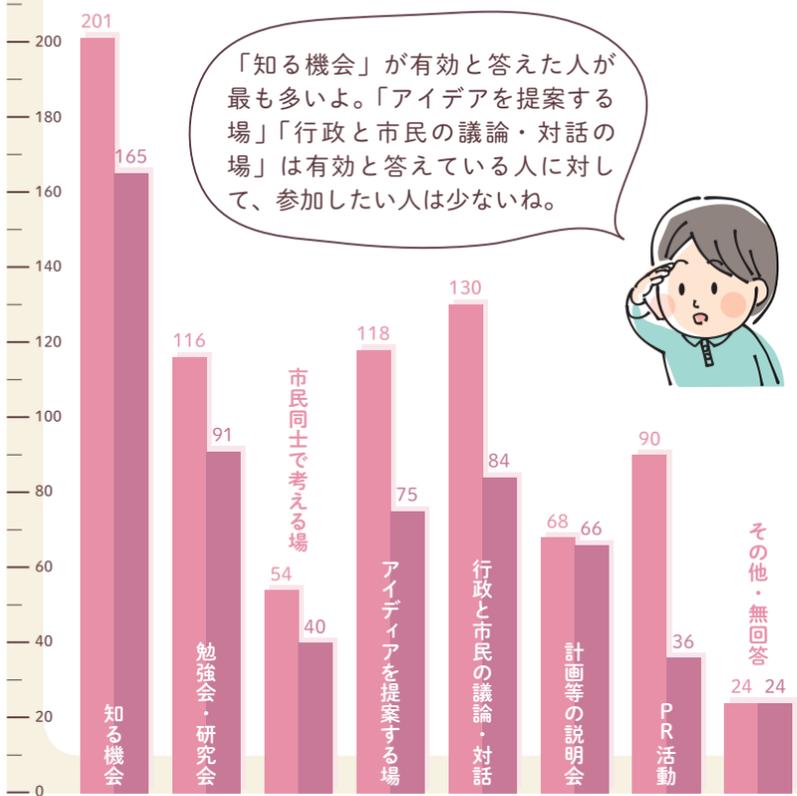
2018 10/1~ ぷらっと Deli

市役所職員が、市民のみなさんが集まる場所を訪ねた時に1~2分程度、公共施設の再編について周知・宣伝する活動です。部署を超えて、職員が一丸となって取り組んでいます。2018年10月に開始し、「ぷらっと vol.2（前号）」は、この活動だけで合計1,365枚配布しました。



アンケート 将来を見据えた「より良いかたち」を実現していくためには、あなたならどのような取組が有効・参加したいと考えますか？（3つまで回答可）

● 有効だと思う取組 ● 参加したい取組 【N=311】



2018 12/2 みんなで考える場inまちカフェ！

2019 3/2 みんなで考える場in小山市民センターまつり

公共施設再編に関するブースを出展しました。巨大ジェンガクイズや顔写真で世界で一つの缶バッジづくり、アンケート調査など、子どもから大人まで楽しんで学べる企画で多くの方に公共施設再編の取組について知っていただきました。総勢493名の方にお立ち寄りいただき大盛況でした。



2019 1/10・29 みんなで考える場in大原学園



59名の学生を対象に、公共施設の再編について講義を行いました。後日、どのように再編に取り組んでいくべきか沢山の議論を交わしながら研究した内容を4グループから発表していただきました。

学生ならではの視点で沢山のアイデアができました。



市民センターまつりは、子ども向け企画もあるので、是非皆さんでお越しください。

今後の予定



市民センターまつり・まちカフェ！に出展します！2月には市民センターなどでいただいたご意見をまとめてシンポジウムも行う予定です。

2019年	
7月 6日	堺市民センター祭り
8月 25日	南市民センターまつり
10月 5日	なるせ駅前市民センターまつり
10月 19日	鶴川市民センターまつり
11月 16日	忠生市民センターまつり
12月 1日	市民協働フェスティバルまちカフェ！
2020年	
2月	公共施設マネジメントシンポジウム

※日程は変更になる場合があります。お確かめください

この広報紙は、111,000部作成し、1部あたりの単価は7円です。（職員人件費を含みます）

町田市公共施設マネジメント 検索

町田駅周辺の公共施設の複合化検討を始めました！



町田駅周辺には市庁舎をはじめ多くの公共施設があります。中でも、保健所や子ども発達センター、さるびあ図書館など、建物の改修や建替えの時期を迎えつつある施設がある他、町田シバヒロなどの大規模な土地があります。

2019年度は、1つの建物に複数のサービスをまとめる複合化案作成に向けた調査・検討を行っています。生涯学習センター（まちだ中央公民館）や町田市民フォーラムは、公共施設と商業施設、住居などが一体となった複合施設です。今後、民間資金や活力を取り入れる方法なども検討し、これからの公共施設・公共空間のより良いかたちを目指していきます。

検討状況は、随時お知らせしていきます。